

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成19年 11月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	2871600603		
法人名	社会福祉法人 千鳥会		
事業所名	グループホームしおさい		
所在地	兵庫県淡路市郡家字居屋敷374-1 (電話) 0799-80-5050		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成19年10月2日	評価確定日	2007年11月30日

【情報提供票より 2007/9/20 事業所記入】

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤14人, 非常勤 4人, 常勤換算	7.95人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	170 円	昼食 430 円
	夕食	500 円	おやつ 100 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要9月20日記入

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	1	要介護2	4		
要介護3	6	要介護4	6		
要介護5	1	要支援2			
年齢	平均 84.6歳	最低	72歳	最高	101歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団順心会 津名病院
---------	----------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

潮騒に包まれた海辺のグループホームで、前庭の季節の野菜や花と、飼い犬のポチの鳴き声と、利用者の笑い声が出迎えてくれる。運営者、管理者、職員の連携の下、利用者が安心して暮らせるような支援が暖かく行われている。近所の幼馴染が遊びにきたり、ホームのデイサービスに近所の人々が来所したり、利用者が地域の公民館活動に参加し、地域にとけこみその人らしく生活していく支援がなされている。毎朝の散歩が日課で、利用者職員、近隣の人々との交流の機会となっている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) 前回指摘された玄関の施錠については検討したが職員のみから死角になる場所なので現在も施錠している。職員のみから届く居間からはいつでも自由に入りできるようにしている。閉塞感は少ない。グループホームの情報の発信についてはホーム便りも作られ、家族と近隣に渡されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) 計画作成担当者、管理者、各フロアリーダーで自己評価を行った。評価を通して地域とのつながりを再確認した。職員は評価を通して、利用者本位の支援を振り返ることができた。普段行っていることを改めて文章にまとめることには苦労した。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) 行政の職員、民生委員、町内会長、地域のボランティア、家族代表、利用者代表、職員が参加して2ヶ月ごとに開催されている。出席は10名ほどで、ホームの現状の説明と動向の理解、行事の反省等広く外部の指摘を受け意見交換している。次回の課題については、出席者と協議している。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) 家族等は毎月利用料を持参している。その時に意見、苦情、不安等を聞くようにしているが、苦情等は出ていない。苦情や不満は出しにくいので、事業所が配慮して、家族会を設け家族同士で意見が出せる仕組み作りや、運営推進会議に家族代表としての意見を述べる機会を作ることが望まれる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) 毎朝日課の散歩や、公民館活動参加、ボランティアの同行買物等の地域交流が日常化されている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・しおさいの頭文字をとり、開設時より「しおさい利用者の思いや意欲を大事にしサービスの質の向上を目指していつも笑顔で支援します」との理念を掲げている。		・地域の住民として家に住んでいるの同じような生活ができるよう近所との関係作りをしているが地域密着型の思いを理念の中に加えていくことが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・朝礼で理念を唱和し、利用者が自由に日常生活が送れるよう、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・毎朝の散歩で地元の人々と顔なじみになっている。公民館活動に希望者が参加したり、利用者がボランティアと一緒に買い物に行ったりしている。ホームで作った野菜を近所におすそ分けしたり、近所から花の苗をもらったり、地域との双方向のつきあいが出来ている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は、計画作成者、各フロアリーダーと管理者で行った。自己評価を通して地域とのつながりを更に意識した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・市の職員、民生委員、町内会長、地域ボランティア、家族代表、利用者代表、職員等で2ヶ月に1回開催している。会議を通してグループホームへの理解が深まり、利用者の散歩時に声掛けしてもらおう等地域とのつながりが密になったのを実感している。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・法人の広報誌やグループホームの便りを届けて、情報提供を行っている。利用者の紹介もしてもらう等市の担当者のグループホームに対する理解が深まってきた。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・家族等は毎月一回利用料を持参する。事業所は健康状態、金銭管理等を報告し、利用者の担当職員が近況報告をしている。食事を一緒に取る家族もいる。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族等の意見や苦情は来訪時に声かけしているが、家族同士が話し合う機会は少ない。</p>		<p>・家族等は苦情や不満を言いにくいので、事業所の配慮が必要となる。家族会を設ける等家族同士で意見が出せる仕組み作りが望まれる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職時は、後任者に職員が3日間引継ぎをしている。利用者への配慮は他の職員がカバーして、問題がないように努めている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・外部研修は職員が進んで参加できる体制である。参加者は結果を報告している。内部研修は年間教育訓練計画に基づき行っている。働きながらの研修は介助技術を中心に指導している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・実習生の受け入れ、福祉関係施設からの見学の受け入れや近隣のグループホームとの交流を通して、サービスの質の向上を図っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・本人と家族で見学してもらったり、デイサービスを体験してもらった上で、納得して利用してもらうよう努めている。利用者についての情報は家族、ケアマネジャーからと直接面談で確認している。利用当初は職員は早く馴染めるよう言葉がけ等に配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・日頃から人生の先輩としての利用者に教えてもらう姿勢でいる。職員は疲れを見せないようにしているが、利用者からいたわりの声掛けをしてもらうこともある等支えあう関係が築かれている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者の表情や、日常生活の中のふとした言葉や行動から意向や希望をくみ取っている。共同生活の中で、他の人がしていることを見て、自分もやってみたいという希望もでてる。</p>		
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・本人の意向、家族の意向、問題点等を出し各利用者の担当者が原案を作り、計画担当者、管理者と検討してその人らしくホームで暮らせる介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・介護計画実施記録やユニット会議での気づきをもとに2ヶ月毎にモニタリングしている。目標が達成されたり、新しい課題が出ると、プランを変更する。変化ない場合は6ヶ月で見直しする。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・ホーム併設事業としてデイサービスを実施しており、外部から3人が利用している。一日の大半を全員がリビングで過ごし、双方とも和やかな関係づくりができています。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・総合病院との協力提携、さらに近隣の医院とは予約で24時間対応可能で、希望に応じて往診もできる関係ができています。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・入居時に、ホームでの対応の限界を説明し、経過ごとに家族と相談しながら主治医の意見を仰いでいる。経口摂取が不可能になったらホームでの生活の限界と考えている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・個人的会話の時は、声の大きさに配慮したり、その人のプライドを大切にしよう注意し合っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者一人ひとりの行きたいところ、食べたいものを優先し、出来るだけその時の些細いでもかなえられるよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・給食委員会で利用者の嗜好調査を行いメニューに反映している。野菜畑の収穫から調理、片付けまで一貫して利用者とともにしている。作る楽しみと食べる楽しみとで会話もはずんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・午後入浴としている。その日の外出予定や、本人の気持ちにより、日時を変えての入浴は可能である。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・野菜の皮剥きや食事の後片付けを習慣としている男性、畑で野菜や花を育て収穫を楽しみにしている人、洗濯や掃除を毎日欠かさずされる人など、その人なりの過ごし方を楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ホームの日課として、毎朝ラジオ体操をして、ホームの犬を連れ周辺を散歩している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関は、間取りが死角となっているため施錠せざるをえないが、居間のベランダ出入口からは、職員利用者が自由に出入りしている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年2回消防署立会いの下、近隣住人も参加しての避難訓練を実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・毎月2回の体重測定を目安とした健康管理と併せ、管理栄養士にメニューの栄養バランスをチェックしてもらっている。水分摂取量については、利用者の普段使用しているカップを大きめなものにし、個々に好みの飲料をすすめている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居間には、ソファを置いたテレビコーナーや畳の和風コーナーがある。廊下にもソファが置かれ、個別にくつろげる。ホーム前は畑があり、居間からは海が広がっているのが常時眺められる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・使い慣れた筆筒や椅子の配置を工夫し、居心地の良い空間となっている。家族の写真や手作り作品なども身の回りに飾り楽しんでる人もいる。</p>		

 は、重点項目。